



近畿財務局 理財部 金融監督第2課 調査官 谷口 瞳
平成26年採用（財務専門官）
財務省国際局で勤務していた期間（平成28年7月～令和5年6月）

◆仕事内容

私は、平成26年に近畿財務局に採用された後、平成28年に財務省に出向しました。国際局が替市場課という部署では、主に国際収支統計の担当をしていました。

国際収支統計とは、日本と海外との間で行われた経済取引（財貨やサービス、資金の流れ等）を体系的に記録した統計のことです。例えば、1ヶ月の間で、海外との貿易額はどれくらいであったか、日本企業が海外へ投資した額、またその投資によって得られた収益はどれくらいであったか、等を集計しています。その他、企業へのヒアリングを通じて、国際収支の観点から経済状況の見通しに関する分析を行ったりしています。



◆仕事の魅力、やりがい

国際収支状況は、その国の経済状況を見る指標の一つとなるので、国際収支統計が公表されると新聞記事になることもあります。公表前は作業が忙しく大変なことも多いのですが、そうした記事を見ると、それまでの苦労も含め自分が携わった仕事の実感でき、やりがいを感じることができます。同時に、多くの人に注目されているものなので、公表には細心の注意を払わないといけないという責任も感じます。知識不足を痛感する毎日ではありますが、上司や周りの方々から助けていただきながら、日々の業務に励んでいます。

◆今までの業務経験について（印象に残っていること、苦労話など）

採用後2年間、信用組合の監督業務に携わりました。監督というと具体的にはどのようなことをするかというと、金融機関から定期的に財務諸表等の資料を提出してもらって、財務状況や経営状況を把握します。また、資料をチェックするだけでなく、実際に金融機関の担当者とお会いして直接話を聞くこともあります。時には金融機関のトップの方から経営に対する思いや方針を直接お聞きできることもあり、貴重な経験として印象に残っています。

◆近畿財務局の自慢、その他職場の雰囲気など

近畿財務局では、財政・金融・経済調査など多様な業務を経験することができます。まだやりたいことが具体的に決まっていなくても、仕事をしていくうえで自分の好きなこと、得意なことを見つけ、その分野の専門性を高めていくこともできると思います。

業務は多岐にわたっていますが、仕事へのサポート体制も充実しています。まず採用後2ヶ月間は全国の財務局の同期と研修生活を送り、その中で仕事に必要な基礎的な知識を身に付けることができます。また資格の研修や語学研修のコースも充実しており、積極的にスキルアップが図れる環境が整えられていると思います。

◆財務局を志望する方へのメッセージ

就職活動は、様々な企業や組織で働く人々からお話を聞ける絶好の機会だと思います。是非その機会に多くの職場に足を運んで、色々な人からお話を聞いてください。私も官庁公開フェスティバルに参加した際に、財務局の先輩方とお話をしたことが、ここで働きたいと思うきっかけになりました。業務内容や職場の雰囲気など、就職において重要視する点は人それぞれだと思いますが、何か「財務局っていいな」と思っていただけであれば幸いです。

